

**広島市感染症週報**

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり27.64人の報告があり、増加しています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が53件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 咽頭結膜熱

定点当たり4.70人の報告があり、増加しています。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

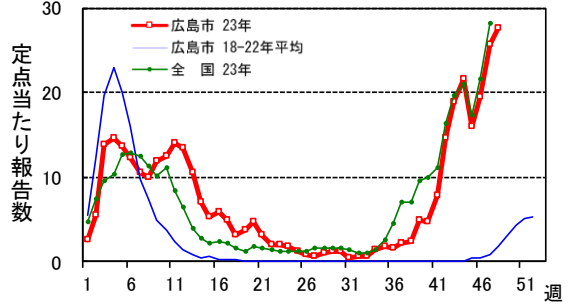
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.30人の報告があり、多い状況が続いています。県内では、西部東保健所管内で定点当たり8.00人(第47週)と警報開始基準値(定点当たり8)以上となったため、広島県は11月30日、県内に「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報」を発令しました。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

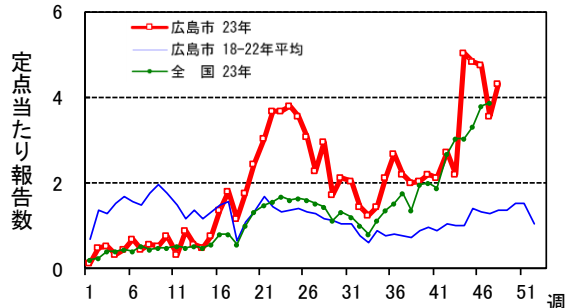
4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.56人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	995	27.64	1.82	→	小児科	ヘルパンギーナ	6	0.26	0.29	
	新型コロナ(COVID-19)	56	1.56		→		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.05	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.29		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	108	4.70	0.36	→		流行性角結膜炎	7	0.88	0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	99	4.30	1.35	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	117	5.09	5.06	→		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	3	0.13	0.23			マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	手足口病	26	1.13	0.97	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.18			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	
	突発性発しん	4	0.17	0.27							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	117	30歳代・1人、40歳代・2人
4	つつが虫病	1	5	70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	12	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	3	16	10歳未満、60歳代、90歳代
5	梅毒	6	260	20歳代・2人、40歳代・3人、50歳代・1人

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																						第44週
報告数	広島市	776	56	2	40	116	90	2	26	-	5	4	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-
		579	41	3	58	111	106	-	29	-	3	4	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-
		700	41	1	90	109	118	7	22	-	9	4	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
		926	59	-	104	82	126	1	15	-	4	1	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-
		995	56	1	108	99	117	3	26	-	4	6	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	21.56	1.56	0.09	1.74	5.04	3.91	0.09	1.13	-	0.22	0.17	0.09	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
		16.08	1.14	0.13	2.52	4.83	4.61	-	1.26	-	0.13	0.17	0.04	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-
		19.44	1.14	0.04	3.91	4.74	5.13	0.30	0.96	-	0.39	0.17	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-
		25.72	1.64	-	4.52	3.57	5.48	0.04	0.65	-	0.17	0.04	-	-	1.63	-	-	-	-	-	-	-
		27.64	1.56	0.04	4.70	4.30	5.09	0.13	1.13	-	0.17	0.26	0.04	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-
全国	第44週	21.65	1.95	0.06	3.30	3.79	4.36	0.13	0.76	0.01	0.23	0.11	0.03	0.02	0.96	0.02	0.03	0.05	-	-	-	-
	第47週	28.30	2.33	0.06	3.54	3.86	4.38	0.12	0.61	0.01	0.20	0.09	0.02	0.02	0.95	0.01	0.03	0.07	-	-	-	-

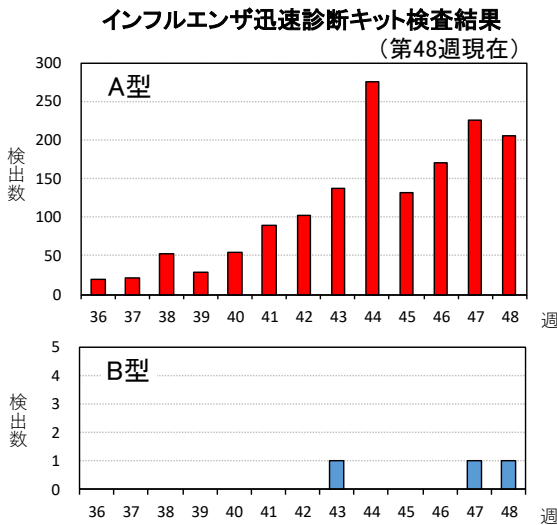
## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の消化器疾患	発熱(38.0°C) 血便	1	2023/09/24	糞便	ハレコウイルス1型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市における今シーズン※のインフルエンザウイルス検出状況



市内2か所の協力医療機関における、迅速診断キットによるインフルエンザウイルス検出数の今シーズンの累計は、A型陽性1,512人、B型陽性3人と、A型が多く検出されています。

また、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注)では、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型が3件、インフルエンザウイルスA(H3)型が2件検出されています(第48週現在速報値)。

(注) 感染症発生動向調査における病原体定点において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

全国のインフルエンザウイルス分離・検出速報については、こちらをご覧ください。↓

「インフルエンザウイルス分離・検出速報」  
(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>



※今シーズン(2023/24シーズン)の期間は2023年第36週~2024年第35週です。

### 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)

2023年第48週(11月27日~12月3日)